科目名	ペットビジネス実務		担当講師 (実務経験)	長崎　幸恵　・　稲村　秋織 有■　無□		
対象学科	愛玩動物看護学科		年次・学期	2年　(　■前期　・　■後期　)		
授業形態	■講義　■実習	授業コマ数(1コマ90分)		前期(15)後期(15)	時間(単位)	60(4)
概要	ポスター制作やディスプレイの技法を身に着けペットビジネスを学ぶ					
テキスト等						

評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)
	定期試験	%
	小テスト・技術力・作品	60%
	レポート	%
	授業態度	20%
	出席状況	20%

授業進行		講義テーマ	講義内容
	1	ポップ　1	ポップの基礎を学ぶ　①
	2	ポップ　2	ポップの基礎を学ぶ　②
	3	啓発ポスター制作　1	各専門分野における啓発ポスターを制作する　①
	4	啓発ポスター制作　2	各専門分野における啓発ポスターを制作する　②
	5	啓発ポスター制作　3	各専門分野における啓発ポスターを制作する　③
	6	啓発ポスター制作　4	各専門分野における啓発ポスターを制作する　④
	7	啓発ポスター制作　5	各専門分野における啓発ポスターを制作する　⑤
	8	一般講座企画　1	「家庭でできる愛犬の健康講座」企画　①
	9	一般講座企画　2	「家庭でできる愛犬の健康講座」企画　②
	10	一般講座企画　3	「家庭でできる愛犬の健康講座」企画　③
	11	一般講座企画　4	「家庭でできる愛犬の健康講座」企画　④
	12	一般講座企画　5	「家庭でできる愛犬の健康講座」企画　⑤
	13	服飾制作　1	アクセサリー作り　①
	14	服飾制作　2	アクセサリー作り　②
	15	企業特別講習　1	ペット関連企業による講習　①

		講義テーマ	講義内容
授業進行	16	一般講座実践　1	「家庭でできる愛犬の健康講座」実践　①
	17	一般講座実践　2	「家庭でできる愛犬の健康講座」実践　②
	18	一般講座実践　3	「家庭でできる愛犬の健康講座」実践　③
	19	一般講座実践　4	「家庭でできる愛犬の健康講座」実践　④
	20	一般講座実践　5	「家庭でできる愛犬の健康講座」実践　⑤
	21	一般講座実践　6	「家庭でできる愛犬の健康講座」実践　⑥
	22	イベント企画　1	クリスマスのディスプレイ　①
	23	イベント企画　2	クリスマスのディスプレイ　②
	24	イベント企画　3	クリスマスのディスプレイ　③
	25	イベント企画　4	クリスマスのディスプレイ　④
	26	パッケージデザイン　1	パッケージデザイン制作
	27	パッケージデザイン　2	パッケージ制作
	28	パッケージデザイン　2	パッケージ写真撮影
	29	服飾制作　3	アクセサリー作り　③
	30	企業特別講習　2	ペット関連企業による講習　②

科目名	動物行動学Ⅱ(猫学)		担当講師 (実務経験)	藤井　美樹子 有■　無□	
対象学科	愛玩動物看護学科		年次・学期	2年　(　□前期　・　■後期　)	
授業形態	■講義　□実習	授業コマ数(1コマ90分)		前期(—)後期(15)	時間(単位)　30(2)
概要	猫の起源、特徴や様々な猫種を学ぶ				
テキスト等	猫の教科書				

評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)	授業進度は変更になる場合があります
	定期試験	60%	
	小テスト・技術力・作品 授業態度	20%	
	レポート	%	
	出席状況	20%	

授業進行		講義テーマ	講義内容
	1	猫の進化と歴史	人とのかかわり
	2	グルーミング演習1	猫のシャンプー技術などを学ぶ①
	3	猫の毛色。パターン1	目の色、特徴①
	4	猫の毛色。パターン2	目の色、特徴②
	5	現代の家猫達1	発生型、体型①
	6	現代の家猫達2	発生型、体型②
	7	猫の遺伝子1	血液型、繁殖①
	8	猫の遺伝子2	血液型、繁殖②
	9	グルーミング演習2	猫のシャンプー技術などを学ぶ②
	10	猫の健康1	免疫、伝染病①
	11	猫の健康2	免疫、伝染病②
	12	猫の特性1	感覚器①
	13	猫の特性2	感覚器②
	14	猫種1	世界の猫達、特徴①
	15	猫種2	世界の猫達、特徴②

科目名	飼養管理学(動物飼養管理学Ⅱ)		担当講師 (実務経験)	池田　麻美 有■　無□	
対象学科	愛玩動物看護学科		年次・学期	2年　(　■前期　・　■後期　)	
授業形態	■講義　□実習	授業コマ数(1コマ90分)	前期(10)後期(5)	時間(単位)	30(2)
教育の狙い	動物の飼養管理に関する基本的事項を再認識しながら、1級でさらに専門的知識を高めると同時に動物愛護や人と動物の共生などの活動を担う知識を深める				
目標	愛玩動物飼養管理士1級取得				
テキスト等	愛玩動物飼養管理士　教本1級　第1巻　・　第2巻				

評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)
	定期試験	60%
	小テスト・技術力・作品	20%
	授業態度	
	レポート	%
	出席状況	20%

授業進行		講義テーマ	講義内容
	1	動物愛護論Ⅱ 動物関係法令 1	日本における動物愛護運動の歴史と展望について
	2	動物関係法令 2	伴侶(愛玩)動物、産業(畜産)動物、野生動物などの動物に人間としてどう対応するか、法律として規定について
	3	動物関係法令 3	伴侶(愛玩)動物、産業(畜産)動物、野生動物などの動物に人間としてどう対応するか、法律として規定について
	4	犬と猫の栄養学	栄養学の基礎知識について
	5	犬と猫の栄養学	栄養学の基礎知識について
	6	動物の疾病とその予防　1	犬猫の疾病とその予防　①
	7	動物の疾病とその予防　2	犬猫の疾病とその予防　②
	8	動物の疾病とその予防　3	その他動物の疾病とその予防
	9	動物の飼養管理と公衆衛生　1	人と動物の共通感染症とその対策　①
	10	動物の飼養管理と公衆衛生　2	人と動物の共通感染症とその対策　②
	11	試験対策　1	模擬試験　①
	12	試験対策　2	模擬試験　②
	13	試験対策　3	模擬試験　③
	14	試験対策　4	模擬試験　④
	15	試験対策　5	模擬試験　⑤

科目名	手話学		担当講師 (実務経験)	手話協会 有■　無□		
対象学科	愛玩動物看護学科		年次・学期	2年　（　■前期　・　□後期　）		
授業形態	■講義　□実習	授業コマ数(1コマ90分)		前期(10)　後期(—)	時間(単位)	20(1)
概要	聴覚障害者の言語である「手話」の基本を学びます。 外見では分かりにくい聴覚障害についての理解を深めながら、実際に聴覚障害者と接した時に適切な対応ができ、且つ積極的なコミュニケーションをとるための方法を学びます。 1，聴覚障害者への配慮と対応方法を学び、基本的な手話を習得・実践できる。 2，聴覚障害者のコミュニケーション手段の1つである手話という言語を基礎から学び、初歩的な会話ができる。					
テキスト等	さっぽろの手話					

評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)
	定期試験	60%
	小テスト・技術力・作品 授業態度	20%
	レポート	%
	出席状況	20%

授業進行		講義テーマ	講義内容
	1	①聴覚障害の基礎知識 ②伝えあってみましょう	①理論講義「聴覚障害者の基礎知識」について学びます。 ②日常生活の中にあるものを身振りで伝えどのようにしたら伝わるのか身振りや表情の工夫について学習します。
	2	あいさつや名前の 手話を覚えましょう	挨拶・名前を表す方法を学び、聴覚障害者のコミュニケーションの方法がいろいろあることを理解します。
	3	人物の手話を覚えましょう	家族の紹介をする学習をしながら、人物の表現の基礎となる手話を学びます。
	4	数の手話を覚えましょう	数の表し方を学習して疑問詞を使って会話練習をします。
	5	趣味の手話を覚えましょう	趣味に関する手話を学習して、疑問詞を使った会話練習をします。
	6	職業の手話を覚えましょう	職業に関わる手話を学習して、会話練習をします。
	7	地名の手話を覚えましょう	住所や地名に関わる手話を学習して、会話練習をします。
	8	①手話の基礎知識 ②自己紹介のまとめ	①理論講義「手話の基礎知識」について学びます。 ②今まで学んだ手話を活かして手話を正確に表現し意思をスムーズに伝えあえるように練習します。
	9	時に関する手話を覚えましょう	1日や1か月の生活に関する手話を学習して、会話練習をします。
	10	①時に関する手話を覚えましょう ②試験対策	①1年の生活に関する手話を学習して、会話練習します。 ②今まで学習したことを活かせるように試験問題の対策をします。

科目名	ペットマッサージ		担当講師 （実務経験）	川地　ヒロ 有■　無□	
対象学科	愛玩動物看護学科		年次・学期	2年　（　■前期　・　■後期　）	
授業形態	■講義　□実習	授業コマ数（1コマ90分）	前期・後期(10)	時間（単位）	20（1）
概要	動物の末病の状態で、飼い主や、動物専門者が病気を発見し、マッサージを施すことで動物が持つ自然治癒力を引き出す動物ケアの技術を習得				
テキスト等	筆記用具				

評価方法 評価基準	評価方法	評価割合（%）
	定期試験	60%
	小テスト・技術力・作品	20%
	授業態度	
	レポート	%
	出席状況	20%

授業進行		講義テーマ	講義内容
	1	中医学の理論。陰陽説 中医学の基本理論	気、血、津液、経路についても解説 tui-naに関して・今日のクイズ
	2	アキュプレッシャーに関して テクニックの紹介	アキュプレッシャーとは何か？ マッサージの必要性、tui-naのテクニック紹介
	3	デモンストレーション。ツボ探し ハンズオン	主要なツボ紹介と位置。各部のマッサージの仕方
	4	温通法の紹介	お灸。温パット、レーザー治療（鍼灸）、ホットストーン 今日のクイズ
	5	理論復習 デモンストレーション	中医学のの復讐。フルボディーのマッサージ デモンストレーション、グループセッション
	6	デモンストレーション各症状別 主要ツボの位置と効果	グループセッション 各症状のツボ確認。今日のクイズ
	7	ハンドオン エッセイ提出	各3つのポイントを選択・デモンストレーション ペット健康維持とアキュプレッシャーの必要性
	8	自然治療法　老犬ケア	家庭で施せる自然治療法の紹介 ディスカッション
	9	ハンドオンテスト　筆記テスト	ショートマッサージテスト（個人）・筆記テスト
	10	安全なマッサージサポート法	寝たきり、癌からの疼痛、怪我の後遺症によるマッサージに必要な無理のないサポート法・質疑応答

2023年度入学生 講義概要　　札幌どうぶつ専門学校

科目名	動物形態機能学Ⅲ		担当講師 (実務経験)	和田　好洋 有■　無□	
対象学科	愛玩動物看護学科		年次・学期	2年　（　■前期　・　■後期　）	
授業形態	■講義　□実習	授業コマ数(1コマ90分)	前期(15)　後期(15)	時間(単位)	60(4)
概要	動物の生命維持の面から学び、生命体としての動物を細胞、組織、臓器レベルの各階層で理解するとともに、病的変化について学ぶ基盤を確率する				
テキスト等	愛玩動物看護師の教科書 第1巻 基礎動物看護学（緑書房）　ビジュアルで学ぶ伴侶動物解剖生理学（緑書房）				

評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)
	定期試験	60%
	小テスト・技術力・作品	20%
	授業態度	
	レポート	%
	出席状況	20%

授業進行		講義テーマ	講義内容
	1	内分泌とホルモン 1	内分泌の定義
	2	内分泌とホルモン 2	ホルモンの性質、機能、生成、分泌、フィードバック調節
	3	内分泌とホルモン 3	主な内分泌臓器の構造と機能
	4	内分泌とホルモン 4	主なホルモンの作用と標的器官　①
	5	内分泌とホルモン 5	主なホルモンの作用と標的器官　②
	6	泌尿器と体液調整 1	腎臓及びネフロンの構造と機能
	7	泌尿器と体液調整 2	クリアランスの意味、腎血漿流量と糸球体濾過量の調節機構
	8	泌尿器と体液調整 3	尿細管における再吸収と分泌、集合管における尿濃縮
	9	泌尿器と体液調整 4	体液の分布と区分、調節機構
	10	泌尿器と体液調整 5	電解質バランス
	11	泌尿器と体液調整 6	酸・塩基平衡
	12	脳と神経 1	ニューロンの構成と活動電位、シナプス伝達
	13	脳と神経 2	脳・脊髄の構造と機能
	14	脳と神経 3	体性神経の構成と機能
	15	脳と神経 4	自律神経の構成と機能

		講義テーマ	講義内容
授業進行	16	運動器 1	骨格の構成
	17	運動器 2	骨の形状と構造
	18	運動器 3	関節の構造と働き
	19	運動器 4	骨格筋の構造と収縮機構
	20	運動器 5	主な骨格筋の名称と機能
	21	血液と造血器 1	血球成分と血漿成分
	22	血液と造血器 2	赤血球の構造と機能
	23	血液と造血器 3	白血球の構造と機能
	24	血液と造血器 4	血小板機能と血液凝固機構及び繊維素溶解
	25	皮膚と感覚器 1	皮膚の構造と機能
	26	皮膚と感覚器 2	皮膚の付属器官
	27	皮膚と感覚器 3	体性感覚（皮膚感覚）
	28	皮膚と感覚器 4	特殊感覚（視覚、聴覚、平衡感覚、臭覚、味覚）
	29	皮膚と感覚器 5	特殊感覚（視覚、聴覚、平衡感覚、臭覚、味覚）
	30	総括	まとめ

2023年度入学生 講義概要　　札幌どうぶつ専門学校

科目名	動物病理学		担当講師 (実務経験)	薄田　治夫 有■　無□	
対象学科	愛玩動物看護学科		年次・学期	2年　（　■前期　・　□後期　）	
授業形態	■講義　□実習	授業コマ数(1コマ90分)	前期(15)　後期(—)	時間(単位)	30(2)
概要	様々な疾病が組織や臓器にもたらす変化を学び、病態について理解する				
テキスト等	愛玩動物看護師の教科書 第3巻　基礎動物看護学（緑書房）				

評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)
	定期試験	60%
	小テスト・技術力・作品	20%
	授業態度	
	レポート	%
	出席状況	20%

授業進行		講義テーマ	講義内容
	1	動物病理学の基礎 1	病理解剖と病理組織学的検査の目的、意義
	2	動物病理学の基礎 2	病理組織標本の作製法・病理組織学的検査の実施手順
	3	細胞や組織に生じる変化 1	変性と物質沈着
	4	細胞や組織に生じる変化 2	壊死とアポトーシス
	5	細胞や組織に生じる変化 3	細胞増殖のメカニズム、再生と化生
	6	細胞や組織に生じる変化 4	過形成と肥大
	7	細胞や組織に生じる変化 5	低形成と委縮
	8	循環障害 1	充血とうっ血・出血の原因と病態・血栓・虚血と梗塞
	9	循環障害 2	浮腫と水腫・ショックの原因と分類・病態・播種性血管内凝固の病態
	10	炎症 1	炎症の定義と5大主徴・炎症の分類と原因と特徴
	11	炎症 2	炎症に関与する細胞と化学伝達物質・炎症の経過と治癒
	12	腫瘍 1	腫瘍の定義と分類・腫瘍の原因と発生機序
	13	腫瘍 2	腫瘍と宿主の関係・腫瘍の転移と進行
	14	先天異常 1	遺伝子・染色体異常
	15	先天異常 2	発生異常と奇形

2023年度入学生講義概要　　札幌どうぶつ専門学校

科目名	動物薬理学		担当講師 （実務経験）	薄田　治夫 有■　無□	
対象学科	愛玩動物看護学科		年次・学期	2年　（　■前期　・　■後期　）	
授業形態	■講義　□実習	授業コマ数（1コマ90分）	前期（15）　後期（15）	時間（単位）	60（4）
概要	代表的な薬物の体内動態と作用機序、臨床応用及び副作用について学び、動物の疾病の診断や治療にどのように用いられるかを理解する				
テキスト等	愛玩動物看護師の教科書 第3巻　基礎動物看護学（緑書房）				

評価方法 評価基準	評価方法	評価割合（%）
	定期試験	60%
	小テスト・技術力・作品	20%
	授業態度	
	レポート	%
	出席状況	20%

授業進行		講義テーマ	講義内容
	1	動物薬理学の基礎 1	獣医臨床における薬物治療の概念と目的
	2	動物薬理学の基礎 2	薬理作用とその発現機構
	3	動物薬理学の基礎 3	薬物動態（吸収、分布、代謝、排泄）と半減期、耐性
	4	動物薬理学の基礎 4	薬物間相互作用
	5	動物薬理学の基礎 5	副作用と中毒
	6	愛玩動物看護師による薬物の取扱い　1	投薬量計算
	7	愛玩動物看護師による薬物の取扱い　2	各種投薬法（投与経路）・飼い主への投薬指導・薬物の適切な管理方法
	8	神経系に作用する薬物 1	全身麻酔薬と局所麻酔薬
	9	神経系に作用する薬物 2	鎮痛薬
	10	神経系に作用する薬物 3	運動神経系に作用する薬
	11	神経系に作用する薬物 4	鎮静薬と抗けいれん薬
	12	神経系に作用する薬物 5	問題行動の治療に用いられる薬
	13	呼吸器系に作用する薬物 1	呼吸興奮薬
	14	呼吸器系に作用する薬物 2	鎮咳薬・気管支拡張薬
	15	循環器・泌尿器に作用する薬物 1	血管拡張薬（降圧薬）

		講義テーマ	講義内容
授業進行	16	循環器・泌尿器に作用する薬物 2	心不全治療薬（強心薬）・抗不整脈薬について理解する
	17	循環器・泌尿器に作用する薬物 3	利尿薬
	18	消化器に作用する薬物 1	制吐薬・制酸薬・胃粘膜保護薬
	19	消化器に作用する薬物 2	消化管運動調整薬
	20	消化器に作用する薬物 3	止瀉薬・しゃ下薬
	21	消化器に作用する薬物 4	肝疾患の治療に用いられる薬物・膵酵素製剤
	22	オータコイド、代謝・内分泌系の薬物 1	代表的なオータコイド
	23	オータコイド、代謝・内分泌系の薬物 2	糖尿病治療薬
	24	オータコイド、代謝・内分泌系の薬物 3	甲状腺ホルモン製剤・ステロイドホルモン製剤
	25	血液・免疫系に作用する薬物 1	抗貧血薬・血液凝固抑制薬・血液凝固促進薬（止血薬）
	26	血液・免疫系に作用する薬物 2	非ステロイド系抗炎症薬（NSAIDs）・免疫抑制薬
	27	感染症の治療、予防に用いられる薬物 1	抗菌薬・抗真菌薬（作用機序による分類、抗菌スペクトルなど）
	28	感染症の治療、予防に用いられる薬物 2	駆虫薬
	29	感染症の治療、予防に用いられる薬物 3	殺虫薬・消毒薬
	30	悪性腫瘍の治療に用いられる薬物	抗悪性腫瘍薬（作用機序による分類）

2023年度入学生 講義概要　　札幌どうぶつ専門学校

科目名	動物臨床看護学各論Ⅰ	担当講師 (実務経験)	伊藤 航 ・ 八百坂 紀子 有■ 無□		
対象学科	愛玩動物看護学科	年次・学期	2年 （ ■前期 ・ ■後期 ）		
授業形態	■講義 □実習	授業コマ数(1コマ90分)	前期(15) 後期(15)	時間(単位)	60(4)
概要	様々な疾患の病態生理を理解し、それによって引き起こされる症状あy必要な処置、治療に関する基本的な知識を学び各々の機能障害を持つ動物に対してどのような看護を提供すべきか、評価と介入の方法について理解する。				
テキスト等	愛玩動物看護師の教科書第5巻基礎動物看護学（緑書房）				

評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)
	定期試験	60%
	小テスト・技術力・作品	20%
	授業態度	
	レポート	%
	出席状況	20%

授業進行		講義テーマ	講義内容
	1	徴候や疾患の理解と対処 1	代表的な徴候や病態、疾患 徴候の評価と記録法
	2	徴候や疾患の理解と対処 2	痛みの評価 徴候・疾患に基づいた援助
	3	代表的な徴候 1	全身徴候(食欲不振・廃絶・元気喪失、発熱、疼痛、削痩)
	4	代表的な徴候 2	特異的徴候、特異的病態
	5	代表的な疾患 1	循環器疾患 ①
	6	代表的な疾患 2	循環器疾患 ②
	7	代表的な疾患 3	循環器疾患 ③
	8	代表的な疾患 4	循環器疾患 ④
	9	代表的な疾患 5	呼吸器疾患 ①
	10	代表的な疾患 6	呼吸器疾患 ②
	11	代表的な疾患 7	呼吸器疾患 ③
	12	代表的な疾患 8	呼吸器疾患 ④
	13	代表的な疾患 9	消化器・栄養代謝性疾患 ①
	14	代表的な疾患 10	消化器・栄養代謝性疾患 ②
	15	代表的な疾患 11	消化器・栄養代謝性疾患 ③

		講義テーマ	講義内容
授業進行	16	代表的な疾患 12	消化器・栄養代謝性疾患 ④
	17	代表的な疾患 13	泌尿器疾患 ①
	18	代表的な疾患 14	泌尿器疾患 ②
	19	代表的な疾患 15	泌尿器疾患 ③
	20	代表的な疾患 16	泌尿器疾患 ④
	21	代表的な疾患 17	内分泌疾患 ①
	22	代表的な疾患 18	内分泌疾患 ②
	23	代表的な疾患 19	内分泌疾患 ③
	24	代表的な疾患 20	内分泌疾患 ④
	25	中獣医学 1	中獣医学概論
	26	中獣医学 2	基礎理論概論
	27	中獣医学 3	基礎理論概論
	28	中獣医学 4	中獣医学の診断・治療について
	29	中獣医学 5	中獣医学の診断・治療について
	30	中獣医学 6	お灸について・実技体験

2023年度入学生 講義概要　　札幌どうぶつ専門学校

科目名	比較動物学Ⅱ		担当講師 (実務経験)	林　英明 有■　無□	
対象学科	愛玩動物看護学科		年次・学期	2年　（　■前期　・　□後期　）	
授業形態	■講義　□実習	授業コマ数(1コマ90分)	前期(15)　後期(－)	時間(単位)	30(2)
概要	産業動物の歴史や品種、飼養管理法について学ぶ				
テキスト等	愛玩動物看護師の教科書 第2巻 基礎動物学（緑書房）				

評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)
	定期試験	60%
	小テスト・技術力・作品 授業態度	20%
	レポート	%
	出席状況	20%

授業進行		講義テーマ	講義内容
	1	ウシの飼養管理 1	歴史・品種・食性
	2	ウシの飼養管理 2	消化器の形態と機能・性周期と繁殖
	3	めん羊・山羊の飼養管理	歴史・品種・食性・消化器の形態と機能・性周期と繁殖
	4	ブタの飼養管理	歴史・品種・食性・消化器の形態と機能・性周期と繁殖
	5	鶏の飼養管理	歴史・品種・食性・消化器の形態と機能・性周期と繁殖
	6	飼養施設見学 1	各家畜の飼養施設の概要　①
	7	飼養施設見学 2	各家畜の飼養施設の概要　②
	8	附属動物医療センター見学	あらゆる分野の動物医療現場を理解する
	9	実験動物 1	目的、意義
	10	実験動物 2	代表的な実験動物の飼養管理、繁殖法　①
	11	実験動物 3	代表的な実験動物の飼養管理、繁殖法　②
	12	実験動物 4	遺伝学的制御
	13	実験動物 5	微生物学的制御
	14	実験動物 6	環境制御
	15	実験動物 7	疾患モデル動物

2023年度入学生 講義概要　　札幌どうぶつ専門学校

科目名	動物内科看護学Ⅱ	担当講師 (実務経験)	岩崎　忍 有■　無□		
対象学科	愛玩動物看護学科	年次・学期	2年　（　■前期　・　□後期　）		
授業形態	■講義　□実習	授業コマ数(1コマ90分)	前期(15)　後期(－)	時間(単位)	30(2)
概要	内科診療の補助に必要な基礎知識を学び、身体検査、採血、投薬、輸液、輸血、画僧診断に必要な検査、所見の記録等について理解する				
テキスト等	愛玩動物看護師の教科書 第4巻 基礎動物看護学(緑書房)				

評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)
	定期試験	60%
	小テスト・技術力・作品 授業態度	20%
	レポート	%
	出席状況	20%

授業進行		講義テーマ	講義内容
	1	X線検査 1	目的と意義・射線防護
	2	X線検査 2	実施方法と撮影体位・フイルムの現像とデジタルX線撮影
	3	X線検査 3	造影検査・透視検査
	4	CT／MRI	CT・MRIの概要
	5	超音波検査 1	目的と実施方法、保定体位
	6	超音波検査 2	Bモード、Mモード、ドップラー法
	7	内視鏡検査 1	目的と意義
	8	内視鏡検査 2	実施方法・準備事項・スコープの洗浄・消毒法
	9	神経学的検査 1	姿勢反応と脊髄反射
	10	神経学的検査 2	脳神経の検査法、神経学的検査の評価記録法
	11	眼科検査に関わる技術　1	シルマー試験、フルオレセイン試験の方法と意義
	12	眼科検査に関わる技術　2	眼圧測定、眼底検査の方法と意義
	13	皮膚と耳の検査に関わる技術　1	皮膚病変の観察と記録法、皮膚掻爬試験、スタンプ検査、被毛検査、皮膚生検
	14	皮膚と耳の検査に関わる技術　2	ウッド灯検査と真菌培養法
	15	皮膚と耳の検査に関わる技術　3	外耳道の検査方法と意義

科目名	動物外科看護学Ⅱ	担当講師 (実務経験)	薄田　治夫 ・ 椿下　早絵 有■　無□		
対象学科	愛玩動物看護学科	年次・学期	2年 （ ■前期 ・ □後期 ）		
授業形態	■講義　□実習	授業コマ数(1コマ90分)	前期(15)　後期(－)	時間(単位)	30(2)
概要	外科診療の補助に必要な基礎知識を学び、術前準備から術中補助、術後管理までの周術期の流れを系統的に理解し、安全な手術の実施に必要な知識を修得する				
テキスト等	愛玩動物看護師の教科書 第4巻　臨床動物看護学（緑書房）				

評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)	授業進度は変更になる場合があります
	定期試験	60%	
	小テスト・技術力・作品 授業態度	20%	
	レポート	%	
	出席状況	20%	

授業進行		講義テーマ	講義内容
	1	術中補助 1	代表的な手術器具(メス、鉗子など)の名称と使用法
	2	術中補助 2	代表的な縫合材(縫合針、縫合糸)の分類と使用法
	3	術中補助 3	代表的な歯科器具の名称と使用法
	4	術中補助 4	直接補助(手袋着用下での補助)
	5	術中補助 5	関節補助(手術回りの補助)
	6	術後管理 1	麻酔覚醒後の動物のモニタリング
	7	術後管理 2	疼痛管理の意義と方法
	8	術後管理 3	術創管理と包帯法
	9	術後管理 4	退院時の注意点と飼い主への説明事項
	10	術後管理 5	褥瘡の予防及び対処法(体位変換など)
	11	総括	まとめ
	12	動物理学療法 1	動物理学療法の目的と意義　①
	13	動物理学療法 2	動物理学療法の目的と意義　②
	14	動物理学療法 3	代表的な理学療法の原理と手技　①
	15	動物理学療法 4	代表的な理学療法の原理と手技　②

科目名	動物繁殖学		担当講師 (実務経験)	池田　麻美 有■　無□	
対象学科	愛玩動物看護学科		年次・学期	2年　(　□前期　・　■後期　)	
授業形態	■講義　□実習	授業コマ数(1コマ90分)	前期(-)　後期(15)	時間(単位)	30(2)
概要	雄と雌の生殖器の構造を学び発情・妊娠・分娩について理解する繁殖に関わる形態と機能を学び、妊娠・分娩と新生子管理、遺伝学の基礎知識を修得する				
テキスト等					

	評価方法	評価割合(%)	
評価方法 評価基準	定期試験	60%	授業進度は変更になる場合があります
	小テスト・技術力・作品 授業態度	20%	
	レポート	%	
	出席状況	20%	

		講義テーマ	講義内容
授業進行	1	生殖器官　1	雌の生殖器の基本構造・繁殖生理
	2	生殖器官　2	雄の生殖器の基本構造・繁殖生理
	3	生殖器官　3	主要な性ホルモンの名称、産生部位
	4	性周期と交配　1	性成熟と発情徴候・排卵の仕組み
	5	性周期と交配　2	腟細胞スメア・交配適期の決定法
	6	妊娠と分娩　1	着床・発生・妊娠・胎子の発育
	7	妊娠と分娩　2	妊娠期間、偽妊娠
	8	妊娠と分娩　3	分娩と助産、帝王切開
	9	妊娠と分娩　4	去勢・不妊手術
	10	妊娠と分娩　5	動物ごとの違い・生殖器官
	11	新生子管理　1	新生子のための飼養環境
	12	新生子管理　2	初乳の意義と哺乳
	13	新生子管理　3	新生子の発育過程
	14	遺伝学　1	遺伝のメカニズム
	15	遺伝学　2	さまざまな遺伝様式・遺伝子疾患・発生異常

2023年度入学生 講義概要　　札幌どうぶつ専門学校

科目名	動物医療コミュニケーション		担当講師 (実務経験)	稲村　秋織 有■　無□	
対象学科	愛玩動物看護学科		年次・学期	2年　(　□前期　・　■後期　)	
授業形態	■講義　□実習	授業コマ数(1コマ90分)	前期(-)　後期(15)	時間(単位)	30(2)
概要	事前問診、入院動物の容態説明、院内における他のスタッフとのコミュニケーションの基礎について理解する				
テキスト等					

	評価方法	評価割合(%)
評価方法 評価基準	定期試験	60%
	小テスト・技術力・作品 授業態度	20%
	レポート	%
	出席状況	20%

		講義テーマ	講義内容
授業進行	1	概論	ホスピタリティ　動物病院における接遇の重要性
	2	院内業務　1	受付時の対応
	3	院内業務　2	会計時の対応
	4	院内業務　3	待合室、診察室の対応
	5	院内業務　4	精算時の顧客管理
	6	院内業務　5	電話対応
	7	院内業務　6	クレーム対応
	8	院内業務　7	備品、消耗品の管理方法
	9	クライアントエデュケーション　1	適正飼養・健康管理
	10	クライアントエデュケーション　2	病気の適切な予防法　予防接種
	11	クライアントエデュケーション　3	フィラリア予防、ノミ・ダニ予防
	12	クライアントエデュケーション　4	歯科予防
	13	クライアントエデュケーション　5	去勢・不妊手術
	14	コミュニケーション技能　1	チーム獣医療
	15	コミュニケーション技能　2	在宅看護

2023年度入学生 講義概要　　札幌どうぶつ専門学校

科目名	動物内科看護学実習Ⅱ		担当講師 (実務経験)	岩崎　忍 有■　無□		
対象学科	愛玩動物看護学科		年次・学期	2年　(　□前期　・　■後期　)		
授業形態	□講義　■実習	授業コマ数(1コマ90分)		前期(-)　後期(30)	時間(単位)	60(2)
概要	内科診療に必要な手技など、動物内科看護学で学んだ知識の実践力を習得する					
テキスト等	愛玩動物看護師の教科書 第4巻 基礎動物看護学(緑書房)					

	評価方法	評価割合(%)
評価方法 評価基準	定期試験	60%
	小テスト・技術力・作品 授業態度	%
	レポート	20%
	出席状況	20%

		講義テーマ	講義内容
授業進行	1	輸液・輸血 1	留置針設置の手順①
	2	輸液・輸血 2	留置針設置の手順②
	3	輸液・輸血 3	留置針設置の手順③
	4	輸液・輸血 4	留置針設置の準備及び補助①
	5	輸液・輸血 5	留置針設置の準備及び補助②
	6	輸液・輸血 6	留置針設置の準備及び補助③
	7	輸液・輸血 7	輸液ポンプ、シリンジポンプの使用方法①
	8	輸液・輸血 8	輸液ポンプ、シリンジポンプの使用方法②
	9	輸液・輸血 9	輸液ポンプ、シリンジポンプの使用方法③
	10	輸液・輸血 10	輸液・輸血中の動物管理①
	11	マイクロチップ 1	輸液・輸血中の動物管理②
	12	マイクロチップ 2	マイクロチップの概要、目的
	13	マイクロチップ 3	マイクロチップの適切な挿入部位、保定法
	14	マイクロチップ 4	マイクロチップ装着手順①
	15	マイクロチップ 5	マイクロチップ装着手順②

2022年度生　　講義概要　　札幌どうぶつ専門学校

		講義テーマ	講義内容
授業進行	16	生体検査 1	心電図検査の実施と記録、保定法①
	17	生体検査 2	心電図検査の実施と記録、保定法②
	18	生体検査 3	X線撮影のための基本的な保定①
	19	生体検査 4	X線撮影のための基本的な保定②
	20	生体検査 5	放射線防御のための装備
	21	生体検査 6	超音波検査のための基本的な保定①
	22	生体検査 7	超音波検査のための基本的な保定②
	23	生体検査 8	神経学的検査の記録①
	24	生体検査 9	神経学的検査の記録②
	25	生体検査 10	眼科検査補助①
	26	生体検査 11	眼科検査補助②
	27	生体検査 12	皮膚検査補助①
	28	生体検査 13	皮膚検査補助②
	29	生体検査 14	外耳道検査の補助①
	30	生体検査 15	外耳道検査の補助②

2023年度入学生 講義概要　　札幌どうぶつ専門学校

科目名	動物外科看護学実習Ⅱ		担当講師 (実務経験)	髙橋動物病院 有■　無□		
対象学科	愛玩動物看護学科		年次・学期	2年　(　□前期　・　■後期　)		
授業形態	□講義　■実習	授業コマ数(1コマ90分)		前期(-)　後期(15)	時間(単位)	30(1)
概要	手術準備や術中・術後管理、麻酔準備や麻酔監視、手術の補助、救急救命など、動物外科看護学で学んだ知識の実践力を修得する					
テキスト等	愛玩動物看護師の教科書 第4巻 基礎動物看護学(緑書房)					

評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)	授業進度は変更になる場合があります
	定期試験	60%	
	小テスト・技術力・作品	20%	
	授業態度		
	レポート	%	
	出席状況	20%	

授業進行		講義テーマ	講義内容
	1	一般外科の原則	無菌操作から周術期疼痛管理まで、 緊急時の心構え
	2	無菌操作の原則	無菌操作の総論・OPE用パック・無菌操作のルール
	3	滅菌と消毒	滅菌消毒法・器具機械、手指、衣類、術野
	4	動物の術前評価	病歴・身体検査・臨床検査・手術リスクの判断・臨床検査での異常判断
	5	手術施設/設備及びスタッフ	手術施設・環境・スタッフの維持管理
	6	手術の準備 1	動物側の準備:食事管理・排泄・皮毛の処理・体位・ドレーピング・術中の体位
	7	手術の準備 2	人側の準備:手洗いからガウン装着・いかに無菌的な行動が出来るか
	8	手術器具の取り扱い	骨外科以外の手術器械の名称・用途・器具器械の洗浄、保管、不妊手術ビデオ
	9	開腹手術の実際	不妊手術の実際の作業と機械器具・ 縫合針・縫合糸・結紮法・出血法
	10	麻酔法と麻酔管理	麻酔の準備・麻酔法・麻酔導入から覚醒・麻酔管理と麻酔維持　監視モニター
	11	手術動物の術前評価	身体検査・臨床検査・手術のリスク評価・クライアントとのコミュニケーション
	12	放射線	レントゲンフィルムの簡単な見方・放射線の取り扱いと防御の重要性
	13	運動器の外科	骨外科の手術器具の名称と使い方・管理・骨折の固定法
	14	一般外科1	食道内異物・イレウス・重積・横隔膜ヘルニア・膀胱結石・椎間板ヘルニア
	15	一般外科2	子宮蓄膿症・帝王切開時の処置法

2023年度入学生 講義概要　　札幌どうぶつ専門学校

科目名	動物臨床検査学実習Ⅱ		担当講師 (実務経験)	岩崎　忍 有■　無□		
対象学科	愛玩動物看護学科		年次・学期	2年　（　■前期　・　□後期　）		
授業形態	□講義　■実習	授業コマ数(1コマ90分)		前期(15)　後期(-)	時間(単位)	30(1)
概要	検体検査に必要な手技や機器の扱い方など、動物臨床検査学で学んだ知識の実践力を習得する					
テキスト等	愛玩動物看護師の教科書 第4巻 基礎動物看護学（緑書房）					

評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)
	定期試験	60%
	小テスト・技術力・作品 授業態度	%
	レポート	20%
	出席状況	20%

授業進行		講義テーマ	講義内容
	1	1年次振り返り	血液一般検査(CBCの測定と正常値など)
	2	血液検査 10	血液塗抹標本を作製、染色①
	3	血液検査 11	血液塗抹標本を作製、染色②
	4	血液検査 12	血液塗抹標本観察
	5	血液検査 13	全血球計算及び血液化学検査
	6	血液検査 14	簡易血清学的検査
	7	血液検査 15	生化学検査(腎機能・肝機能・膵機能・電解質など)①
	8	血液検査 16	生化学検査(腎機能・肝機能・膵機能・電解質など)②
	9	尿検査 3	物理化学性状の記録②
	10	尿検査 4	尿沈査を観察し、所見を記録③
	11	糞便検査 3	糞便検査を実施し、虫卵及び原虫を検出③
	12	糞便検査 4	糞便検査を実施し、虫卵及び原虫を検出④
	13	細胞診 2	検査の準備・補助・保定法②
	14	細胞診 3	検査の準備・補助・保定法③
	15	総括	まとめ

科目名	動物臨床看護学実習Ⅰ		担当講師 (実務経験)	中山　美帆 有■　無□		
対象学科	愛玩動物看護学科		年次・学期	2年　（　□前期　・　■後期　）		
授業形態	□講義　■実習	授業コマ数(1コマ90分)		前期(-)　後期(15)	時間(単位)	30(2)
概要	動物看護過程や疾患別の看護など、動物臨床看護学で学んだ知識の実践力を習得する					
テキスト等	愛玩動物看護師の教科書第5巻基礎動物看護学（緑書房）					

評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)
	定期試験	60%
	小テスト・技術力・作品 授業態度	20%
	レポート	%
	出席状況	20%

授業進行		講義テーマ	講義内容
	1	動物看護過程の実践　1	動物看護アプローチの個別性①
	2	動物看護過程の実践　2	動物看護アプローチの個別性②
	3	動物看護過程の実践　3	看護動物の生活環境(家族を含む)が健康に及ぼす影響
	4	動物看護過程の実践　4	症状や入院・治療が看護動物と家族に及ぼす影響
	5	動物看護過程の実践　5	看護動物の看護上の問題①
	6	動物看護過程の実践　6	看護動物の看護上の問題②
	7	動物看護過程の実践　7	看護動物の援助の内容・方法を立案①
	8	動物看護過程の実践　8	看護動物の援助の内容・方法を立案②
	9	動物看護過程の実践　9	動物看護計画の作成①
	10	動物看護過程の実践　10	動物看護計画の作成②
	11	動物看護過程の実践　11	動物看護記録の作成①
	12	動物看護過程の実践　12	動物看護記録の作成②
	13	動物看護過程の実践　13	事例演習　①
	14	動物看護過程の実践　14	事例演習　②
	15	動物看護過程の実践　15	事例演習　③

科目名	動物看護総合実習Ⅱ		担当講師 (実務経験)	池田　麻美 有■　無□	
対象学科	愛玩動物看護学科		年次・学期	2年 （ ■前期 ・ □後期 ）	
授業形態	□講義　■実習	授業コマ数(1コマ90分)	前期(50)　後期(-)	時間(単位)	100(3)
概要	実際の動物診療施設で診療業務に参加し、これまでに学んだ学習内容を統合する。診療施設の概要や機能、獣医師との連携、飼い主とのコミュニケーション、愛玩動物看護師としての役割や責任について理解し、実務能力を修得する				
テキスト等					

評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)	
	定期試験	%	実習先での評価を基に総合的に評価
	小テスト・技術力・作品	%	実習前オリエンテーションの実施
	レポート	50%	施設により実習内容は変更になる場合があります
	授業態度	30%	
	出席状況	20%	

授業進行		講義テーマ	講義内容
	1 2 3 4 5 6	動物病院実習	診察室における獣医療補助 入院動物の看護 各種検査や処置、外科手術の補助 飼い主との適切なコミュニケーション 1日の振返り(自宅にてレポート作成)
	7 8 9 10 11 12	動物病院実習	診察室における獣医療補助 入院動物の看護 各種検査や処置、外科手術の補助 飼い主との適切なコミュニケーション 2日の振返り(自宅にてレポート作成)
	13 14 15 16 17 18	動物病院実習	診察室における獣医療補助 入院動物の看護 各種検査や処置、外科手術の補助 飼い主との適切なコミュニケーション 3日の振返り(自宅にてレポート作成)
	19 20 21 22 23 24	動物病院実習	診察室における獣医療補助 入院動物の看護 各種検査や処置、外科手術の補助 飼い主との適切なコミュニケーション 4日の振返り(自宅にてレポート作成)
	25 26 27 28 29 30	動物病院実習	診察室における獣医療補助 入院動物の看護 各種検査や処置、外科手術の補助 飼い主との適切なコミュニケーション 5日の振返り(自宅にてレポート作成)
	31 32 33 34 35 36	動物病院実習	診察室における獣医療補助 入院動物の看護 各種検査や処置、外科手術の補助 飼い主との適切なコミュニケーション 6日の振返り(自宅にてレポート作成)

		講義テーマ	講義内容
授業進行	37	動物病院実習	診察室における獣医療補助 入院動物の看護 各種検査や処置、外科手術の補助 飼い主との適切なコミュニケーション 1日の振返り（自宅にてレポート作成）
	38		
	39		
	40		
	41		
	42		
	43		
	44	動物病院実習	診察室における獣医療補助 入院動物の看護 各種検査や処置、外科手術の補助 飼い主との適切なコミュニケーション 2日の振返り（自宅にてレポート作成）
	45		
	46		
	47		
	48		
	49		
	50		

科目名	トリミング基礎実習Ⅱ		担当講師 (実務経験)	伊藤 航 有■ 無□		
対象学科	愛玩動物看護学科		年次学期	2年 （ ■前期 ■後期 ）		
授業形態	□講義 ■実習	授業コマ数(1コマ90分)		前期(30) 後期(30)	時間(単位)	120(4)
概要	トリミングの基礎を身に付ける					
テキスト等	トリミング学テキストⅠ トリミング器具					

評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)
	定期試験	60%
	小テスト技術力作品 レポート	20%
	授業態度	%
	出席状況	20%

	前期	講義テーマ	講義内容
授業進行	1	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 55
	2	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 56
	3	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 57
	4	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 58
	5	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 59
	6	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 60
	7	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 61
	8	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 62
	9	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 63
	10	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 64
	11	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 65
	12	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 66
	13	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 67
	14	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 68
	15	基礎実習 ステップ2	一人で行うグルーミング作業 1

	前期	講義テーマ	講義内容
授業進行	16	基礎実習 ステップ2	一人で行うグルーミング作業 2
	17	基礎実習 ステップ2	一人で行うグルーミング作業 3
	18	基礎実習 ステップ2	一人で行うグルーミング作業 4
	19	基礎実習 ステップ2	一人で行うグルーミング作業 5
	20	基礎実習 ステップ2	一人で行うグルーミング作業 6
	21	基礎実習 ステップ2	一人で行うグルーミング作業 7
	22	基礎実習 ステップ2	一人で行うグルーミング作業 8
	23	基礎実習 ステップ2	一人で行うグルーミング作業 9
	24	基礎実習 ステップ2	一人で行うグルーミング作業 10
	25	基礎実習 ステップ2	一人で行うグルーミング作業 11
	26	基礎実習 ステップ2	一人で行うグルーミング作業 12
	27	基礎実習 ステップ2	一人で行うグルーミング作業 13
	28	基礎実習 ステップ2	一人で行うグルーミング作業 14
	29	基礎実習 ステップ2	一人で行うグルーミング作業 15
	30	基礎実習 ステップ2	一人で行うグルーミング作業 16
	31	基礎実習 ステップ2	一人で行うグルーミング作業 17
	32	基礎実習 ステップ2	一人で行うグルーミング作業 18
	33	基礎実習 ステップ2	一人で行うグルーミング作業 19
	34	基礎実習 ステップ2	一人で行うグルーミング作業 20
	35	基礎実習 ステップ2	一人で行うグルーミング作業 21
	36	基礎実習 ステップ2	一人で行うグルーミング作業 22
	37	基礎実習 ステップ3	ボディクリッピング 1
	38	基礎実習 ステップ3	ボディクリッピング 2
	39	基礎実習 ステップ3	ボディクリッピング 3

	後期	講義テーマ	講義内容
授業進行	40	基礎実習　ステップ3	ボディクリッピング　4
	41	基礎実習　ステップ3	ボディクリッピング　5
	42	基礎実習　ステップ3	ボディクリッピング　6
	43	基礎実習　ステップ3	ボディクリッピング　7
	44	基礎実習　ステップ3	ボディクリッピング　8
	45	基礎実習　ステップ3	ボディクリッピング　9
	46	基礎実習　ステップ3	ボディクリッピング　10
	47	基礎実習　ステップ3	ボディクリッピング　11
	48	基礎実習　ステップ3	ボディクリッピング　12
	49	基礎実習　ステップ3	ボディクリッピング　13
	50	基礎実習　ステップ3	ボディクリッピング　14
	51	基礎実習　ステップ3	ボディクリッピング　15
	52	基礎実習　ステップ3	ボディクリッピング　16
	53	基礎実習　ステップ3	ボディクリッピング　17
	54	基礎実習　ステップ3	ボディクリッピング　18
	55	基礎実習　ステップ3	ボディクリッピング　19
	56	基礎実習　ステップ3	ボディクリッピング　20
	57	基礎実習　ステップ3	ボディクリッピング　21
	58	基礎実習　ステップ3	ボディクリッピング　22
	59	総括	全体確認①
	60	総括	全体確認②

科目名	国家試験対策講座Ⅰ		担当講師 (実務経験)	池田　麻美 有■　無□		
対象学科	愛玩動物看護学科		年次・学期	2年　(　■前期　・　■後期　)		
授業形態	■講義　□実習	授業コマ数(1コマ90分)		前期(15)　後期(15)	時間(単位)	60(4)
概要	愛玩動物看護師国家試験合格を目指す					
テキスト等	(仮題)愛玩動物看護師国家試験問題集(緑書房・エデュワードプレス)					

評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)	授業進度は変更になる場合があります
	定期試験	60%	
	小テスト・技術力・作品 授業態度	20%	
	レポート		
	出席状況	20%	

授業進行		講義テーマ	講義内容
	1	基礎動物学　1	動物形態機能学①
	2	基礎動物学　2	動物形態機能学②
	3	基礎動物学　3	動物形態機能学③
	4	基礎動物学　4	動物形態機能学④
	5	国家試験対策問題　1	演習問題①
	6	基礎動物学　5	動物繁殖学
	7	基礎動物学　6	生命倫理、動物福祉
	8	国家試験対策問題　2	演習問題②
	9	基礎動物学　7	動物栄養学①
	10	基礎動物学　8	動物栄養学②
	11	基礎動物学　9	動物栄養学③
	12	基礎動物学　10	動物栄養学④
	13	国家試験対策問題　3	演習問題③
	14	基礎動物学　10	動物看護関連法規①
	15	基礎動物学　11	動物看護関連法規②

		講義テーマ	講義内容
授業進行	16	国家試験対策問題　4	演習問題④
	17	基礎動物看護学　1	動物看護学概論①
	18	基礎動物看護学　2	動物看護学概論②
	19	国家試験対策問題　5	演習問題⑤
	20	基礎動物看護学　3	動物病理学
	21	基礎動物看護学　4	動物薬理学
	22	国家試験対策問題　6	演習問題⑥
	23	基礎動物看護学　5	動物臨床看護学総論①
	24	基礎動物看護学　6	動物臨床看護学総論②
	25	基礎動物看護学　7	動物臨床看護学各論①
	26	基礎動物看護学　8	動物臨床看護学各論②
	27	基礎動物看護学　9	動物臨床看護学各論③
	28	基礎動物看護学　10	動物臨床看護学各論④
	29	基礎動物看護学　11	動物臨床看護学各論⑤
	30	基礎動物看護学　12	動物臨床看護学各論⑥